



29.6.27

統合幕僚監部

(お知らせ)

派遣海賊対処行動水上部隊による遭難船舶への対応について

派遣海賊対処行動水上部隊の護衛艦「てるづき」がアデン湾において遭難船舶への対応を行いましたのでお知らせします。

1 時期

平成29年6月21日（水）～6月22日（木）

2 発生場所

アデン湾西部

3 事案の概要

6月21日午後（現地時間6月21日午前）、アデン湾においてゾーンディフェンスを実施していた護衛艦「てるづき」が、漂流しているスキフ（漁船）を発見。乗船者に対する聞き取りの結果、当該スキフがソマリアに帰投する途中でエンジンの故障により約7日間漂流していたことを確認し、当該スキフの乗船者から救助の要請を受けた。

「てるづき」は、当該乗船者に対して飲料水及び食料を提供した後、当該スキフの曳航を開始。6月22日午前（現地時間6月21日午後）、「てるづき」は、ソマリアのベルベラ港付近の海域において、当該スキフをソマリア側に引き渡した。

なお、現在、海上自衛隊の福田将補が司令官を務めている第151連合任務部隊（CTF151）司令部は、「てるづき」等と緊密に連携して当該事案に対応した。

4 その他

第27次派遣海賊対処行動水上部隊（隊員数約200名）

指揮官：第6護衛隊司令 1等海佐 近藤 匡（こんどう まさし）

「てるづき」艦長 2等海佐 橋本 聖一（はしもと せいいち）

(参考)

事象発生時の位置関係 (イメージ)



遭難スキフに対し状況確認する「てるづき」隊員



曳航中の遭難スキフ

